

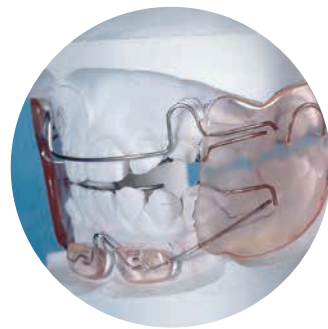
矯正歯科技工の基本中の基本をわかりやすく解説しました!!

はじめての 矯正歯科技工

横井欣弘
著

—基本手技・知識へのアプローチ—

「はじめての矯正歯科技工」と題した本書は、矯正歯科技工と補綴歯科技工の違いから、矯正歯科技工指示書の見方、矯正歯科技工専用の器具とその使用法、線屈曲の基本のほかに矯正装置の維持装置中で多用されるアダムスのクラスプの曲げ方、矯正装置に用いられる唇側線、拡大装置についても記載しています。矯正歯科技工に初めて携わる、あるいはこれから矯正歯科技工を学びたいと思う歯科技工士のために編纂された1冊です。



QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判変型 ●92ページ ●定価 本体6,000円(税別)

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <https://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



～CONTENTS～

第1章 矯正歯科技工とは何か

はじめに
補綴技工(一般)と矯正歯科技工の違い
矯正歯科技工指示書の見方
対合歯とバイト
まとめ

第2章 矯正歯科技工に用いる器具

はじめに
まとめ

第3章 矯正用模型の種類と役割

はじめに
作業模型
診断用模型
機能模型の製作のポイント
まとめ

第4章 ワイヤー屈曲の基本と維持装置

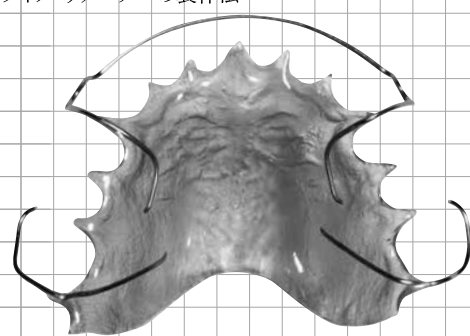
はじめに
矯正用ワイヤーのサイズと形態
ワイヤー屈曲のポイント
アダムのクラスプ
アダムのクラスプの屈曲に際しての事前作業
アダムのクラスプの屈曲法
アダムのクラスプの咬合面・脚部方向への屈曲
上顎アダムのクラスプの製作上の注意点
維持装置の製作
その他のクラスプ
唇側線(labial bow)
唇側線の屈曲の際に配慮すること
まとめ

第5章 矯正歯科技工の線鑑付け法と拡大装置

はじめに
弾線の鑑付け法
舌側弧線装置
舌側弧線装置の製作
鑑付けの事前準備
維持チューブとバンドの鑑付け
脚部の屈曲
主線
主線の屈曲
主線の確認
補助弾線の製作と屈曲
研磨と完成
ナンスのホールディングアーチ(Nance Holding Arch)
トランスパラルアーチ(Trans Palatal Arch:TPA)
下顎の拡大装置(シュワルツ[Schwarz]装置)
シュワルツ装置の構成
製作のための使用器材と材料
製作順序
まとめ

第6章 保定装置(リテーナー)

はじめに
ホーレーのリテーナーとホーレータイプリテーナー
サーカムフェレンシアルタイプ・リテーナー
サーカムフェレンシアルタイプ・リテーナーの製作法
まとめ



きりとり線

注文書

はじめての矯正歯科技工
—基本手技・知識へのアプローチ—
モリタ商品コード:208040694

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。